

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月27日

事業所名 放課後等デイサービスここいく(全体)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	適宜、広い場所への移転を行う	
	2	職員の配置数は適切である	5	5		利用人数に対して配置に余裕がないため、若干名の採用を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	6		バリアフリーになっていないため、利用者にあわせて手すりをつける等の対応を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	話し合いの場がある	振り返りが不十分であるため、「行事後」の話し合いの場を設ける
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	適時、全員の職員が参加できており、積極的に参加している	月に一回、外部の専門家をお呼びして研修を行うことになった。Eラーニングによるケーススタディで現場対応力を強化している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	毎日、職員で話し合いながら計画ができています	パート社員さんも、月一で参画を行って行く
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	平日と休日を・長期休暇で課題は分けずに、一貫した課題目標の中、支援内容を換えて行っている	課題をよりわかりやすくするために、目で見える形(ペーパーで刷り出す)で情報共有していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	送迎スタッフも含め、綿密に行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2		サービス提供後は時間がないため、通常は翌日に行い、朝から利用の日は直近の放課後利用日に行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2	医療的ケアが必要な利用者がいない	医療的ケアが必要になれば検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3		新1年生が入る際は、発達支援課を通して情報共有を行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	0		移行があった際、数度の訪問を行い情報は提供している。今後も都度、情報の提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0		研修があれば、欠かさず参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	2	障がいに理解のある児童との交流を多く作っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	0	代表がいなべ市自立支援協議会委員である	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎時の面談、連絡帳、電話等で保護者と連絡を密に取っている	日々の活動報告と連絡帳で伝えきれない部分を定期的なケース会議を活用して深掘ししていく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	1		保護者への働きかけを増やしていくため、ペアレント・トレーニングは活用していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		送迎時の面談にて、保護者と契約内容等の情報交換をさらに実施していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		
	35	個人情報に十分注意している	10	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	構造化による支援を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	0	地域の人々に行事に参加してもらっている	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	新しいスタッフへの周知不足	再度、周知徹底を行った
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1	家族からの聞き取りにて対応	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		重大な事故につながらないように、常に改善を実施していく

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月27日

事業所名 放課後等デイサービスこいこく員弁教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	適宜、広い場所への移転を行う	
	2	職員の配置数は適切である	3	2		利用人数に対して配置に余裕がないため、若干名の採用を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		バリアフリーになっていないため、利用者にあわせて手すりをつける等の対応を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	話し合いの場がある	振り返りが不十分であるため、「行事後」の話し合いの場を設ける
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	適時、全員の職員が参加できており、積極的に参加している	月に一回、外部の専門家をお呼びして研修を行うことになった。 Eラーニングによるケーススタディで現場対応力を強化している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎日、職員で話し合いながら計画ができています	パート社員さんも、月一で参画を行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	平日と休日を・長期休暇で課題は分けずに、一貫した課題目標の中、支援内容を換えて行っている	課題をよりわかりやすくするために、目で見える形(ペーパーで刷り出す)で情報共有していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	送迎スタッフも含め、綿密に行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		サービス提供後は時間がないため、通常は翌日に行い、朝から利用の日は直近の放課後利用日に行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	医療的ケアが必要な利用者がいない	医療的ケアが必要になれば検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		新1年生が入る際は、発達支援課を通して情報共有を行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		移行があった際、数度の訪問を行い情報は提供している。今後も都度、情報の提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		研修があれば、欠かさず参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	障がいに理解のある児童との交流を多く作っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	代表がいなべ市自立支援協議会委員である	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時の面談、連絡帳、電話等で保護者と連絡を密に取っている	日々の活動報告と連絡帳で伝えきれない部分を定期的なケース会議を活用して深堀していく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		保護者への働きかけを増やしていくため、ペアレント・トレーニングは活用していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		送迎時の面談にて、保護者と契約内容等の情報交換をさらに実施していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	構造化による支援を行っている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	地域の人々に行事に参加してもらっている	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	新しいスタッフへの周知不足	再度、周知徹底を行った
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	家族からの聞き取りにて対応	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		重大な事故につながらないように、常に改善を実施していく

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年2月27日

事業所名 放課後等デイサービスここく東員教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	適宜、広い場所への移転を行う	
	2	職員の配置数は適切である	2	3		利用人数に対して配置に余裕がないため、若干名の採用を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		バリアフリーになっていないため、利用者にあわせて手すりをつける等の対応を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	話し合いの場がある	振り返りが不十分であるため、「行事後」の話し合いの場を設ける
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	適時、全員の職員が参加できており、積極的に参加している	月に一回、外部の専門家をお呼びして研修を行うことになった。Eラーニングによるケーススタディで現場対応力を強化している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎日、職員で話し合いながら計画ができています	パート社員さんも、月一で参画を行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	平日と休日を・長期休暇で課題は分けずに、一貫した課題目標の中、支援内容を換えて行っている	課題をよりわかりやすくするために、目で見える形(ペーパーで刷り出す)で情報共有していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	送迎スタッフも含め、綿密に行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		サービス提供後は時間がないため、通常は翌日に行い、朝から利用の日は直近の放課後利用日に行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	医療的ケアが必要な利用者がいない	医療的ケアが必要になれば検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		新1年生が入る際は、発達支援課を通して情報共有を行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		移行があった際、数度の訪問を行い情報は提供している。今後も都度、情報の提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		研修があれば、欠かさず参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	障がいに理解のある児童との交流を多く作っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	代表がいなべ市自立支援協議会委員である	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時の面談、連絡帳、電話等で保護者と連絡を密に取っている	日々の活動報告と連絡帳で伝えきれない部分を定期的なケース会議を活用して深掘ししていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		保護者への働きかけを増やしていくため、ペアレント・トレーニングは活用していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		送迎時の面談にて、保護者と契約内容等の情報交換をさらに実施していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	構造化による支援を行っている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	地域の人々に行事に参加してもらっている	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	新しいスタッフへの周知不足	再度、周知徹底を行った
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	家族からの聞き取りにて対応	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		重大な事故につながらないように、常に改善を実施していく